

平成 26 年度

公共下水道事業特別会計

主要施策成果の報告書

京都府 木津川市

目 次

決算の概要

平成26年度公共下水道事業特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支	1
2. 歳 入	2
3. 歳 出	3

決算の状況

公共下水道事業会計決算の状況

1. 歳 入	4
2. 歳 出	4

主要施策の成果

歳入の概要

1款 使用料及び手数料	5
2款 国庫支出金	5
3款 財産収入	6
4款 寄附金	6
5款 繰入金	6
6款 繰越金	7
7款 諸収入	7
8款 市債	8
9款 分担金及び負担金	8

歳出の概要

1款 総務費	9
2款 管理費	10
3款 事業費	11
4款 公債費	14

参考資料	15
------------	----

平成 26 年度 公共下水道事業特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支

(1) 決算規模

平成 26 年度の決算規模は、
 歳入 2,056,651 千円 (前年度 2,124,760 千円)
 歳出 2,047,749 千円 (前年度 2,109,239 千円)
 となり、決算規模の対前年度比較は、歳入が 68,109 千円、3.2%の減、歳出が 61,490 千円、2.9%の減とそれぞれ前年度を下回った。

(2) 決算収支

* 実質収支

平成 26 年度の歳入歳出差引額 (形式収支) は、8,902 千円で翌年度に繰越すべき財源はないため、実質収支の額も 8,902 千円となり、前年度より 6,619 千円、42.6%の減となった。

* 単年度収支

今年度の実質収支 (8,902 千円) から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、△6,619 千円となり、前年度より 1,336 千円、25.3%の減となった。

* 実質単年度収支

今年度の単年度収支 (△6,619 千円) に基金の積立金 (55,343 千円) を加えた実質単年度収支は、48,724 千円となった。

2. 歳入

平成 26 年度の歳入総額は、2,056,651 千円となり、前年度と比較すると 68,109 千円、3.2%の減となった。歳入の概要は、次のとおりである。

- 1) 使用料及び手数料 下水道使用料及び排水設備申請審査・検査等手数料である。
806,167,666 円、前年度と比較すると 22,980,334 円、2.9%の増となった。
下水道使用料 803,635,666 円
下水道手数料 2,532,000 円
- 2) 国庫支出金 下水道施設建設に要した費用の国庫負担分である。
64,000,000 円、前年度と比較すると 160,000,000 円、71.4%の減となった。
- 3) 財産収入
収入実績はなく、前年度と比較すると 16,680 円、皆減となった。
- 4) 寄附金 都市再生機構からの公有財産購入費及び木津川上流流域下水道建設事業負担金の財源としての寄附金である。
71,432,970 円、前年度と比較すると 63,296,196 円、47.0%の減となった。
- 5) 繰入金 一般会計からの繰入金である。
818,407,000 円、前年度と比較すると 112,636,000 円、16.0%の増となった。
- 6) 繰越金 前年度繰越金である。
15,521,446 円、前年度と比較すると 13,707,563 円、46.9%の減となった。
- 7) 諸収入 雑収入である。
22,100 円、前年度と比較すると 4,426 円、16.7%の減となった。
- 8) 市債 下水道施設建設に要した費用に係る長期債の借入である。
278,200,000 円、前年度と比較すると 30,400,000 円、12.3%の増となった。
長期債 財政融資資金 278,200,000 円
- 9) 分担金及び負担金 舗装復旧工事において他工事負担分と一体的に施行したことによる原因者からの負担金である。
2,899,680 円、昨年度と比較すると皆増となった。

3. 歳出

平成 26 年度の歳出総額は、2,047,749 千円となり、前年度と比較すると 61,490 千円、2.9%の減となった。歳出の概要は、次のとおりである。

- 1) 総務費 下水道課の庁費、流域下水道維持管理負担金、使用料徴収委託料、消費税等である。
708,839,144 円、前年度と比較すると 159,846,994 円、29.1%の増となった。
- 2) 管理費 加茂浄化センター、下水道管渠、マンホールポンプ等、下水道施設の維持管理費である。
119,237,709 円、前年度と比較すると 6,091,277 円、5.4%の増となった。
- 3) 事業費 公共下水道施設建設に要した費用及び流域下水道建設負担金である。
391,896,452 円、前年度と比較すると 243,012,371 円、38.3%の減となった。
- 4) 公債費 下水道事業債の元金及び利子の償還である。
827,775,258 円、前年度と比較すると 15,584,396 円、1.9%の増となった。

公共下水道事業特別会計 決算の状況

1. 歳入

(単位:円)

項目	平成26年度決算額 ①	平成25年度決算額 ②	増減 ①-②
使用料及び手数料	806,167,666	783,187,332	22,980,334
国庫支出金	64,000,000	224,000,000	△ 160,000,000
財産収入	0	16,680	△ 16,680
寄附金	71,432,970	134,729,166	△ 63,296,196
繰入金	818,407,000	705,771,000	112,636,000
繰越金	15,521,446	29,229,009	△ 13,707,563
諸収入	22,100	26,526	△ 4,426
市債	278,200,000	247,800,000	30,400,000
分担金及び負担金	2,899,680	0	2,899,680
合計	2,056,650,862	2,124,759,713	△ 68,108,851

2. 歳出

項目	平成26年度決算額 ①	平成25年度決算額 ②	増減 ①-②
総務費	708,839,144	548,992,150	159,846,994
管理費	119,237,709	113,146,432	6,091,277
事業費	391,896,452	634,908,823	△ 243,012,371
公債費	827,775,258	812,190,862	15,584,396
予備費	0	0	0
合計	2,047,748,563	2,109,238,267	△ 61,489,704

主要施策の成果

歳入の概要

1 款 使用料及び手数料

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 使用料	800,373,000	803,635,666	0
	前年度決算額	780,837,332	前年度比 増減額
			22,798,334

下水道使用料803,628,346円は、普及面積拡大による水洗化世帯の増加及び消費税率の改定により、前年度比2.9%増となった。有収水量は、5,979,560 m³(前年度5,962,432 m³ 0.3%増)となった。下水道財産占用料7,320円の収入があった。

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
2項 手数料	2,533,000	2,532,000	0
	前年度決算額	2,350,000	前年度比 増減額
			182,000

排水設備申請審査及び検査手数料765件 2,517,000円(前年度641件 2,335,000円 7.8%増)。排水設備指定工事業者指定手数料【新規:1件 15,000円(前年度1件 15,000円 増減なし)】。

2 款 国庫支出金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 国庫補助金	64,000,000	64,000,000	0
	前年度決算額	224,000,000	前年度比 増減額
			△ 160,000,000

	本年度	前年度	増減率	
事業費	木津川流域関連 公共下水道国庫補助金	28,000,000	33,000,000	15.2%減
	木津川上流流域関連 公共下水道国庫補助金	36,000,000	67,000,000	46.3%減
	木津中央地区 管渠布設事業費補助金	0	124,000,000	皆減

3款 財産収入

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 財産運用収入	0	0	0
	前年度決算額	16,680	前年度比増減額
			△ 16,680

収入実績はなく、前年度と比較すると皆減となった。

4款 寄附金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 寄附金	73,110,000	71,432,970	0
	前年度決算額	134,729,166	前年度比増減額
			△ 63,296,196

鹿川排水区雨水幹線用地購入費及び木津川上流流域下水道建設事業負担金の財源として、都市再生機構からの寄附金 71,432,970 円の収入があった。

なお、都市再生機構の撤退に伴い、木津川上流流域下水道建設事業負担金の財源として、平成 30 年度までの事業計画に拠る資金計画に基づいて、寄附金の一括受け入れを行い、平成 27 年度以降の負担金の財源として充当するため、55,343,413 円を財政調整基金元金積立金へ積立を行った。

流域下水道建設事業分 65,625,000 円 (うち、平成 26 年度分 10,281,587 円)
 公有財産購入費 5,807,970 円 (平成 25 年度からの繰越事業)

5款 繰入金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 一般会計繰入金	818,407,000	818,407,000	0
	前年度決算額	705,771,000	前年度比増減額
			112,636,000

一般会計からの繰入金である。

起債元金償還分 516,268 千円 (うち基準内繰入 464,645 千円)
 起債利子償還分 225,565 千円 (うち基準内繰入 225,565 千円)
 維持管理費分 45,867 千円 (うち基準内繰入 34,586 千円)
 建設改良費分 30,707 千円
 計 818,407 千円 (うち基準内繰入 724,796 千円)

6款 繰越金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 繰越金	15,521,000	15,521,446	0
	前年度決算額	29,229,009	前年度比増減額
			△ 13,707,563

前年度決算の剰余金としての繰越金 15,521,446 円である。

7款 諸収入

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 預金利子	1,000	0	0
	前年度決算額	5,116	前年度比増減額
			△ 5,116

収入実績はなく、前年度と比較すると皆減となった。

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
2項 雑入	22,000	22,100	0
	前年度決算額	21,410	前年度比増減額
			690

下水道台帳等のコピー代収入として、22,100 円収入があった。

8款 市債

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 市債	278,200,000	278,200,000	0
	前年度決算額	247,800,000	前年度比増減額
			30,400,000

節	事業	起債額 (千円)	借入先 借入期間(うち据置)	利率
公共下水道事業債	木津川流域関連公共下水道事業	76,145	財務省 30年(5年)	1.1%
	木津川上流流域関連公共下水道事業	134,755	財務省 30年(5年)	1.1%
流域下水道事業債	木津川流域下水道建設事業	1,600	財務省 30年(5年)	1.1%
	木津川上流流域下水道建設事業	65,700	財務省 30年(5年)	1.1%

9款 分担金及び負担金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 負担金	2,899,000	2,899,680	0
	前年度決算額	0	前年度比増減額
			2,899,680

舗装復旧工事において、他工事負担分と一体的に施行したことによる原因者からの工事負担金として、2,899,680円の収入があった。前年度と比較すると皆増となった。

歳出の概要

1款 総務費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 総務管理費	709,919,000	708,839,144	0	1,079,856
	前年度決算額	548,992,150	前年度比増減額	159,846,994

1目 一般管理費

一般管理庶務事業費

26年度決算額 90,370,552円 25年度決算額 85,571,674円
(前年度比増減額 4,798,878円)

一般管理庶務事業費として、使用料徴収事務委託料(51,885,124円)、消費税(22,527,400円)、非常勤嘱託職員人件費(2,821,612円)、などを支出した。

職員給与費

26年度決算額 68,194,051円 25年度決算額 62,805,085円
(前年度比増減額 5,388,966円)

課長、主幹、課長補佐、庶務係、施設管理係、計8名の一般職の人件費である。

職員研修事業費

26年度決算額 351,960円 25年度決算額 58,000円
(前年度比増減額 293,960円)

日本下水道協会、日本下水道事業団等が主催する研修への参加に係る旅費及び負担金を支出した。平成26年度は、延べ5人が参加した。

各種負担金事業費

26年度決算額 218,380円 25年度決算額 213,280円
(前年度比増減額 5,100円)

日本下水道協会、京都府下水道協会会費及び流域下水道連絡協議会分担金を支出した。

流域下水道維持管理事業費

26年度決算額 484,036,062円 25年度決算額 391,152,638円
(前年度比増減額 92,883,424円)

木津川流域下水道、木津川上流流域下水道に対する維持管理負担金を支出した。

水洗化促進事業費

26年度決算額 1,566,000円 25年度決算額 1,864,000円
(前年度比増減額 △298,000円)

水洗便所改造費助成金及び水洗便所改造資金融資あっ旋利子補給金を支出した。

助成金交付件数 85件
融資あっ旋利子補給件数 1件

還付金事業費

26年度決算額 78,676円 25年度決算額 13,293円
 (前年度比増減額 65,383円)

過年度納付済使用料の還付を17件行った。

公営企業会計移行事業費

26年度決算額 8,680,080円

平成26年度からの新規事業である。平成29年度からの地方公営企業法適用に向けて、平成26年度から3ヵ年での業務委託を開始したことによる平成26年度出来高分の委託料及び研修参加に係る旅費を支出した。

2目 基金事業費

26年度決算額 55,343,413円 25年度決算額 16,680円
 (前年度比増減額 55,326,733円)

都市再生機構の撤退に伴い、木津川上流流域下水道建設事業負担金の財源として、平成30年度までの事業計画に拠る資金計画に基づいて、一括して受け入れた寄附金のうち、平成26年度分を除いた55,343,413円を平成27年度以降の負担金の財源として充当するため、財政調整基金元金積立金への積立を行った。

2款 管理費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 施設管理費	120,156,000	119,237,709	0	918,291
	前年度決算額	113,146,432	前年度比増減額	6,091,277

1目 処理場管理費

処理場管理事業費

26年度決算額 104,475,430円 25年度決算額 101,793,867円
 (前年度比増減額 2,681,563円)

加茂浄化センター(処理水量1,159,730m³)の維持管理事業で、26年度の事業実施内容は、次のとおりである。

光熱水費 13,810,280円
 施設修繕料 2,521,800円
 その他需用費 223,409円
 賠償責任保険料 66,060円
 施設管理委託料(8件) 87,853,881円

2目 管渠管理費

管渠管理事業費

26年度決算額 14,762,279円 25年度決算額 11,352,565円
 (前年度比増減額 3,409,714円)

整備済下水道管渠及びマンホールポンプ等の維持管理事業で、26年度の事業実施内容は、次のとおりである。

光熱水費(MP電気代) 3,195,367円
 施設修繕料 1,288,039円
 その他需用費 36,019円
 通信運搬費(MP電話代) 757,389円
 下水道台帳管理等委託料 432,000円
 MP維持管理業務委託料(34ヵ所) 5,896,800円
 電波利用料(MP) 6,000円
 土地賃借料 200,216円
 管渠管理工事費 2,931,009円
 下水道事業用原材料費 19,440円

3款 事業費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 施設建設費	394,215,000	391,896,452	0	2,318,548
	前年度決算額	634,908,823	前年度比増減額	△243,012,371

1目 公共下水道事業費

木津川流域関連公共下水道事業費

26年度決算額 119,503,371円 25年度決算額 117,202,877円
 (前年度比増減額 2,300,494円)

山城地域の普及面積拡大を図るため、管渠布設工事等を行った。

職員の給料及び手当等 16,082,602円
 その他事務費 1,504,409円
 支障物件等移設補償費 35,874,360円
 公共下水道工事費 66,042,000円

山城処理分区舗装本復旧工事(26-1)	6,434,640円
アスファルト舗装 A=1,004㎡	
山城処理分区舗装本復旧工事(26-2)	5,032,800円
アスファルト舗装 A=1,339㎡	
綺田南処理分区舗装本復旧工事(26-3)	5,153,760円
アスファルト舗装 A=1,231㎡	
山城処理分区管渠工事(26-1)	35,458,560円
開削φ200 L=456.0m	
山城処理分区管渠工事(26-2)	13,962,240円
開削φ200 L=276.0m	

木津川上流流域関連公共下水道事業費

26年度決算額	192,736,144円	25年度決算額	189,805,056円
(前年度比増減額)	2,931,088円		

木津地域のうち既成市街地の普及面積拡大を図るため、管渠布設工事等を行った。

職員の給料及び手当等	17,209,167円
その他事務費	1,783,437円
土地賃借料(工事期間中の仮設駐車場)	43,500円
公有財産購入費	5,807,970円
支障物件等移設補償費	65,028,550円
公共下水道工事費	102,863,520円
第1・第7処理分区舗装本復旧工事	2,250,720円
アスファルト舗装 A=601㎡	
第5処理分区舗装本復旧工事	4,676,400円
アスファルト舗装 A=1,356㎡	
第6処理分区舗装本復旧工事	11,847,600円
アスファルト舗装 A=3,405㎡	
第6-1処理分区舗装本復旧工事	8,567,640円
アスファルト舗装 A=2,135㎡	
第5処理分区(その18)・第6処理分区(その12)面整備工事	20,449,800円
開削φ200 L=223m	
第6処理分区MP設置工事	19,145,160円
マンホールポンプ N=1基	
第6-1処理分区面整備工事(その13)	6,647,400円
開削φ200 L=83m	
第7処理分区面整備工事(その13)	24,781,680円
開削φ200 L=272m	
第7処理分区面整備工事(その14)	4,187,160円
開削φ200 L=72m	
(その他)公共汚水ます設置工事全5件	309,960円

2目 流域下水道費

木津川流域下水道建設事業費

26年度決算額	3,526,657円	25年度決算額	4,687,052円
(前年度比増減額)	△1,160,395円		

木津川流域下水道の建設負担金を京都府に支払った。

また、木津川流域下水道建設費清算負担金を八幡市など5市2町に支払った。

木津川流域下水道建設事業負担金	1,705,837円
木津川流域下水道建設費清算負担金	1,820,820円

木津川上流流域下水道建設事業費

26年度決算額	76,130,280円	25年度決算額	75,013,424円
(前年度比増減額)	1,116,856円		

木津川上流流域下水道の建設負担金を京都府に支払った。

4款 公債費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 公債費	827,776,000	827,775,258	0	742
	前年度決算額	812,190,862	前年度比増減額	15,584,396

1目 元金

地方債償還元金

26年度決算額 597,348,955円 25年度決算額 571,720,621円
 (前年度比増減額 25,628,334円)

2目 利子

地方債償還利子

26年度決算額 230,426,303円 25年度決算額 240,470,241円
 (前年度比増減額 △10,043,938円)

借入先別の元金、利子償還額の内訳は、次のとおり。

(単位:円)

		元 金	利 子
定 時 償 還	財政融資資金	269,691,329円	122,236,905円
	かんぽ生命	32,085,153円	14,596,209円
	地方公共団体金融機構	200,697,033円	87,547,899円
	市中銀行等	94,875,440円	6,045,290円
合 計		597,348,955円	230,426,303円

【参考資料】

平成26年度末の普及状況

行政人口(人) (A)	処理区域内人口(人) (B)	処理区域面積(ha) (C)	水洗化人口(人) (D)	普及率(%) (B)÷(A)	水洗化率(%) (D)÷(B)
73,319	66,352	1,434.1	62,293	90.5	93.9

平成26年度 地方債償還明細(借入先別)

(単位:円)

借 入 先	平成25年度末 未償還元金	平成26年度 借 入 額	平成26年度 償還元金額	平成26年度末 未償還元金
財 務 省	5,190,376,779	278,200,000	269,691,329	5,198,885,450
日本郵政公社	531,718,455	0	32,085,153	499,633,302
地方公共団体 金融機構	4,368,853,228	0	200,697,033	4,168,156,195
市中銀行等	674,886,915	0	94,875,440	580,011,475
計	10,765,835,377	278,200,000	597,348,955	10,446,686,422